

作物の種類		ひえ		435		1次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	出穂期	区	観察	年月日									全茎の40～50%が出穂した日		
2	株の開閉	区	観察			開			中			閉		出穂期に観察し、茎が外方に扇開するものを開とし、直立するものを閉、中間を中とする。	
3	柱頭の色	区	観察			白			淡紫			紫		開花期に調査	
4	成熟期	区	観察	年月日									茎葉並びに穂首部が黄化し、粒はほぼ蠟様の硬さに達した日		
5	穂型	区	観察			円筒形		紡錘形		短紡錘形		長紡錘形		成熟期に調査	
6	稈長	10個体	測定	cm（小数第1位を四捨五入）									成熟期、条播は2か所50cm間につき、その10cm間づつ、点播は連続した10株につき、それぞれの最長のものの地際より穂首までの長さ。		
7	穂長	10個体	測定	cm（小数第1位を四捨五入）									成熟期、穂首より穂の頂端までの長さ（稈長を測定した茎に着生する穂について調査）		
8	穂数	10個体	測定	本（小数第1位を四捨五入）									成熟期、条播は50cm間2か所平均、点播は10株平均の株当たり穂数（稈長を測定した箇所につき調査、ただし遅れ穂は除く）		
9	粒形	区	観察			球形			短楕円形			楕円形		完熟粒について調査	
10	未熟時の護穎の色	区	観察			緑						紫赤		成熟前の緑色のある時期に調査	
11	籾の色	区	観察				淡黄褐		黄褐			暗黄褐		穎つき子実の色。灰色の地にあらわれる小さな絞りの色で判別する	
12	穂色	区	観察				白		黄褐			褐			

作物の種類		ひえ		435	1次選択項目								
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	
1	止葉期	区	観察	年月日									止葉の全葉身が全茎の40～50%に出現した日
2	開花期	区	観察	年月日									全茎の40～50%で穂の上部より1/3の部分に開花した日
3	稈の細太	区	観察				細		中		太		成熟時に観察する
4	分けつ茎数	10個体	測定	本（小数第1位を四捨五入）									分けつ稈に主稈を加える
5	芒の有無/長短	区	観察	無		短		中		長			成熟期に観察
6	1000粒重	区	測定	g（小数第3位を四捨五入）									玄穀（脱ふ子実）,100粒重を5回測定し算出する
7	玄穀粒の色	区	観察				白		黄白		黄		脱ふ子実の色
8	精白粒の色	区	観察				白		黄白		黄		

作物の種類		ひえ		435		2次必須項目								
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	耐倒伏性	区	観察				弱	やや 弱	中	やや 強	強			生育期間を通して総合的に判定する
2	いもち病抵抗性	区	観察				弱	やや 弱	中	やや 強	強			いもち病抵抗性の程度により分級する
3	黒穂病抵抗性	区	観察				弱	やや 弱	中	やや 強	強			黒穂病抵抗性の程度により分級する

作物の種類		ひえ		435	3次必須項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	
1	子実重	区	測定	kg/a (小数第2位を四捨五入)									護穎つき子実重 (含水率12.5%換算), 3平方m程度の坪刈
2	リットル重	区	測定	g (小数第1位を四捨五入)									玄穀 (脱ふ子実) のリットル重 (2回測定平均)
3	脱ふ率	100g	測定	% (小数第2位を四捨五入)									脱ふ子実重 / 護穎つき子実重 × 100
4	脱粒性	区	観察				易		中		難		脱粒の難易により判定

作物の種類		ひえ		435	3次選択項目									
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	総重	区	測定	kg/a (小数第2位を四捨五入)										風乾総重 (面積等は子実重に準じる)